

職員による自己評価

A環境面

ワンフロアで死角も少なく状況把握しやすい反面、一軒家である北新横浜店に比べ、空間分けをする難しさがあり、お子様の特性や希望に合わせた空間づくりに難しさを感じることも

B児童への支援内容

- ・一人ひとりが興味を持ち参加できるような活動内容の考案や工夫が必要
- ・支援終了後の打ち合わせや振り返りが常勤・非常勤交え設けられる時間帯がないためライン等活用したい
- ・ガイドラインの共有の機会が必要

C関係機関との連携

- ・学校やそのほか関係機関主催のカンファレンス等は参加させていただいている
- ・共通支援が必要と思うお子様に対して積極的に連携を持ち掛けていきたい

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・送迎や連絡帳等でお悩みや相談を受ける機会が多い

E非常対応

非常勤スタッフとのマニュアルやフロー共有の機会が少ない

保護者による評価

A環境面

- ・実際に室内の様子を見たことがなく不明
- ・もう少し広い方がのびのびできそう
- ・大きな部屋で自由に遊べたり、小さな部屋で落ち着いたりできるようでありがたい

B児童への支援内容

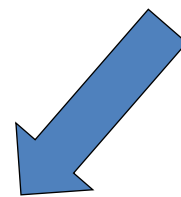
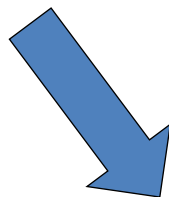
- ・面談での希望をすぐに取り入れてチャレンジさせてくれて有難い
 - ・地域性もあるかもしれないが北新横浜店より地域交流が少ないのが少し残念
 - ・学校主催のカンファレンスにも来てくれ他デイとも情報共有して色々把握してくれて助かっている
- 児童クラブや障がいのないお子さんとの交流の機会はほとんどのご家庭より「はい以外」の回答だった→世間の健康管理への注意もありまだ難しいかもしれないというご意見も

C事業所からの情報発信

- ・お便りやInstagramを見て活動の様子が把握できている。子どもたちの楽しそうな写真をみて満足。

D非常対応

マニュアル等の周知や説明に関して「どちらともいえない」という回答が多数



事業所内での分析

【共通点】

児童クラブ等の障害のないお子さんとの交流に関して、双方に機会はあまりないと感じているが実際のニーズはあるのか疑問。
保護者会や保護者様との交流を増やしていくことは検討していきたい。

【相違点】

非常対応で評価を頂いていたが、全スタッフの対応が同じになるよう改善を重ねていかないと感じた。
楽しい活動だけではなく、そこにお子様の生活や将来を考えた質の高い支援もされていなければならないと感じる。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・周りのスタッフの支援の姿勢の良い所を手本とすることで、どのスタッフもまんべんなく児童との信頼関係を築けている印象。
- ・課題に対して常に改善を重ねている。
- ・支援学校、個別支援級、普通級、様々なお子様がいる中で、一人ひとりが興味をもって前向きに参加できる活動を日々模索し実行している。縦割りでも子ども同士の信頼関係も強い。

事業所の改善点

- ・ワンフロアという環境面から、目が行き届きやすい分、管理者・児発管がイレギュラーに気づき対応することが多く、他のスタッフに経験をしてもらうことが難しい。どのスタッフも常に安全やトラブルに対して責任をもって動けるように対応方法などの共有や機会を設けていきたい。
- ・SNSを使っていない等活動内容の周知が行き届いていない保護者様もいたり、保護者同士のつながりを求める声も聞かれ、活動報告含め懇談会の企画もしていきたい

事業所の改善への取り組み

- ・活動の充実と支援員個々のスキルアップ
- ・何が起きても全てのスタッフが対応できるように PDCA の活用。
- ・リスクマネジメント、児童対応や支援方法の共有の機会を増やす。
- ・保護者会の開催を検討

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

アンケートを行うことで、課題や改善点が明確になると共に、日頃保護者様と関わりのないスタッフに評価をいただいている声を届け自信につなげていきたい。
昨年オープンして、まずは安心できる場・楽しい場という環境づくりに尽力してきたが、今後は更にお子様に対しての支援力を向上させていきたい。

事業所名 E-NE CREATE 小机

担当者 公荘 紗久耶